

## 指導計画

### 人権総合学習

1. 目標  
自然や社会(人々)そして地域への気づきを大切にし、また、それらのものに直接触れ、体験することにより自己を見つめ、自分たちの生活をよりよいものに改善していこうとする子どもを育てる。
2. めざす子ども像  
(低学年)気づく子  
●身近な人との関わりに関心を持つ子  
●自分たちの遊びや生活を工夫する子  
  
(中学年)伝え合う子  
●地域や身の回りの人々とのかかわりに関心をもつ子  
●人の意見に耳を傾け、自分の思いを表現する子  
  
(高学年)実践する子  
●地域社会と自分とのかかわりに関心をもつ子  
●問題を見つけ、自分のこととして受けとめ、活動する子
3. 基本的な考え  
本校における部落問題学習・共生・環境・国際理解など、地域社会に目を向け、「生きる力」として総合的な学習の時間の中で取り組むことで、本校のめざす同和教育(人権学習)につながるものとする。  
この「同和・人権総合学習」のねらいは、  
●子どもたちの興味や関心を大切にしながら、調べ学習、聞き取り学習、フィールドワークなどの様々な活動で課題解決する力をつける。  
●地域の歴史、国際理解、環境問題などを学習して、社会(人々)、自然と自分とのかかわりに関心を持ち、考え、行動する力をつける。  
●まとめたり発表したりすることで学習した内容を整理、処理する力をつける。
4. 各学年の年間プラン図

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
-----	-----	-----	-----	-----	-----

## 人権・同和教育

### 同和教育全体計画図

### 特別支援教育

1. 目標  
確かな学力の向上や豊かな心を育てる。  
お互いの個性や能力を尊重し、ともに助け合う子どもを育てる。
2. 努力点  
●その子の困り感に気づく  
学級担任、T.T.担当者、専科担当者、養護教諭による気づき  
学年内の情報収集  
保護者からの教育相談  
●子ども一人一人の発達段階を見極め、課題を明らかにし、落ち着いて意欲的に取り組めるようにする。